

此時、伊耶那伎命、大歡喜ばして詔 わく、吾者、生み生みて、生みの終に、

爾、答白。僕者此國根之堅洲國に罷んと欲うが故に哭く。爾、

伊耶那岐大神、大忿怒、然者、此國に不可住と詔 わく。

乃ち、神夜良比爾夜良比賜也。故、其伊耶那岐大神者、淡海之多賀に、坐す。

故、其御頸珠名、御倉板擧之神と謂す。

次に、月讀命に詔 わく。汝命者、夜之食國を所知と、事依而賜也。

次に建速須佐之男命に詔 わく、汝命者、海原を所知と、事依而賜也。

故、各 依賜之命 隨 に、所知看之中に、須佐之男命、所命之國を不治而、

八拳須の于心前に至るまで、啼伊佐知伎也。其泣状者、青山を枯山なす

泣枯。河海者、悉泣乾き。是以、惡神之音、狹蠅なす皆滿て、

萬物之妖 悉發。於左右御手、各 八尺勾玉之五百津之美須麻流之珠を纏持して、曾毘良邇者

故、伊耶那岐大神、須佐之男命に詔 わく。何由以、汝は、所事依之國を

不治して、哭伊佐知流。於向股、踏那豆美、如沫雪蹶散而て、伊都之男建、踏建而、待問たまわく。

何故上來ませる。

爾に、速須佐之男命、答曰、

僕之哭伊佐知流之事を問賜、故、白都良久、僕、欲往妣國、以哭。

爾に、大御神詔、わく。汝者、不可在此國而。神夜良比夜良比賜故、

將罷往之状、を以爲請、參上耳。無異心。

爾に、天照大御神詔、わく。然者、汝心之清明何以知。

於是、速須佐之男命、答曰。各、宇氣比而、生子。

故、爾に、各、中置天安河、て、宇氣布時に、天照大御神、建速

須佐之男命の所佩、十拳劔を先乞度、打折三段而、奴那登母母由良爾、

振滌天之眞名井而、佐賀美爾迦美而、吹棄氣吹之狹霧の所成神、御名は、

多紀理毘賣命。亦、御名は、奥津嶋比賣命ともうす。次に、市寸嶋比賣命。亦

御名は、狹依毘賣命ともうす。次に、多岐都比賣命。

速須佐之男命、天照大御神の左御美豆良に所纏八尺勾玉之

五百津之美須麻流珠を乞度して。奴那登母母由良爾、振滌天之眞名井而、

佐賀美爾迦美而、吹棄氣吹之狹霧の所成神、御名は、正勝吾勝勝速日

天之忍穗耳命。亦、右御美豆良に、所纏之珠を乞度而。佐賀美爾迦美而、

吹棄氣吹之狹霧の所成神、御名は、天之善卑能命。亦、所纏御鬘之珠を

乞度而、佐賀美爾迦美而、吹棄氣吹之狹霧の所成神、御名は、天津日子根命。

又、所纏左御手之珠を乞度而、佐賀美爾迦美而、吹棄氣吹之狹霧の所成神

御名は、熊野久須毘命。

於是、天照大御神、速須佐之男命に告りたまわく。是後に、所生、五柱

男子者、物實、因我物、所成。故、自、吾子也。先に所生之、三柱の女子

者、物實、因汝物、所成。故、乃、汝子也。如此詔別也。

故、其先、所生之神、多紀理毘賣命者、坐胸形之奥津宮。次に市寸嶋比賣命者、

